



男女共同参画社会を目指して
あなたも私も自分らしく

女性が安心して働き続けることができる社会へ



問い合わせ
市民サービスグループ
(☎85) 2139

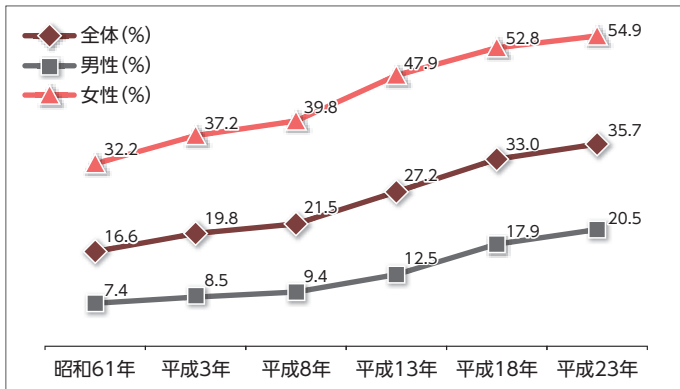
増える働く女性 増える非正規雇用労働者

昭和61年に男女雇用機会均等法が施行されてから、女性の労働人口は年々増加しています。平成22年には女性の労働人口は2千768万人となり、男女雇用機会均等法施行時と比べ373万人増加しました。

また、平成24年の厚生労働省統計によると、労働人口に占める非正規雇用労働者の割合は、男女ともに年々増加し、特に女性は高い割合で推移しています。

さらに、平成23年に行われた国税庁の民間給与実態統計調査によると、平成22年の給与所得者に占める年収200万円以下の労働者の割合は22・9割で、そのうち、女性が占める割合は42・7割に上っています。

これらのことから、男女雇用機会



▲労働人口に占める非正規雇用労働者の割合 (総務省統計局労働力調査)

均等法の施行をきっかけに働く女性は増えたものの、同時に、非正規雇用労働者などの低所得者の数も増加していることがわかります。

非正規雇用労働は女性のニーズ?

非正規雇用労働者が増加している理由には2つの側面があります。1つは、長引く不況を背景に、企業側が人件費圧縮のための調整弁として非正規雇用の枠を拡大したためです。そしてもう1つは、働く女性のニーズが挙げられます。配偶者の扶養下にある女性の多くが『自分の都合の良い時間(日)で働きたいから』『勤務時間・日数が短いから』などという理由で、自ら非正規雇用労働者を選択しています。

一見、女性労働者と企業のニーズが一致したかのようですが、その裏には『現在の社会制度下では、女性が出産や育児をしながら正規雇用労働者として働き続ける環境が整っていない』という実態があるのではな

自分の都合のよい時間(日)に働きたい	55.8%	やりたい仕事が多たまたまパートだった	10.0%
勤務時間・日数が短い	35.2%	簡単な仕事で責任も少ないから	9.0%
就業調整(年収の調整や労働時間の調整)ができる	19.3%	正社員として採用されなかったから	7.4%
家庭の事情(育児・介護等)で正社員として働けない	13.9%	転勤がないから	5.9%
正社員としての募集が見つからない	13.3%	すぐ辞められるから	3.2%
正社員として働くことが体力的・精神的に難しい	11.5%	その他	8.3%

▲現在非正規雇用労働者の女性に聞いた非正規雇用労働者を選択した理由 (厚生労働省平成23年度パートタイム労働者総合実態調査個人調査)

いでしょいか。

また、男性の非正規雇用労働者の増加による『ワーキング・プア』の問題も『晩婚化』『少子・高齢化』などの問題に拍車をかけています。

現在、日本が直面している社会的・経済的な閉塞感を打開するためには『女性が出産や育児をしながら安心して働き続けることのできる社会の実現』が必要なのです。

女性が安心して働き続けることができる社会へ